

平成23年
新司法試験
**最新
合格者
講義**

OPEN

通信部 発売開始 11/7 (月)~

■学すべきは結果である答案ではなく、本試験現場の思考過程。

リアルドキュメント
[実況中継] **2011年民事系 1位**
の答案はこう書いた

回数 全3回・9時間

講座仕様

科目 民事系

教材 ・第6回本試験問題&出題趣旨
・講師作成オリジナルレジュメ
・講師作成再現答案
・合格者再現答案 (民法1通・商法1通・民訴3通)
※一部、映像とレジュメの体裁が異なる教材がございますが記載されている内容は同一のものです。あらかじめご了承下さい。

講師 平成23年 新司法試験合格者
志田 智之 講師
Profile

中央大学法科大学院未修者コース修了。平成23年新司法試験にて、論文総合1位(581.60点)・総合評価1位(1159.30点)を獲得し、見事、受験1回目で合格。ロースクール入学当初は、新司法試験合格のために何をすべきか、どれだけすべきか暗模索の状態だった。しかし、新司法試験を徹底的に分析・検討した結果、知識を単純に詰め込むだけでは合格に直結するとは言えず、問題文にあるヒントをいかに漏らさず読むかが出発点であり、むしろ知識面は無闇に手を広げずとも、基本をしっかり押さえることが何よりも重要であることに気づく。本試験の緊迫状態下でも、問題文を丁寧に読み込むことを第一に心がけ、答案は基本的な部分の理解を示し、そこから1つずつ自分の思考を積み重ね、表現するという基礎の基礎を愚直に守り抜いた結果、本人も驚きの総合評価1位での合格を果たした。発表後、多くの再現答案を読むなかで、あまりに基本が抜けている答案が多く、上記の自分の考えはそれほど自明のことではなかったことを知る。何をどれだけやればいいのか分からず、昨今の合格率低迷にあえぐ受験生に、新司法試験合格のためには何も特別な勉強なんていらぬ、正しい目標を見据え、正しい勉強をしっかりとすれば必ず合格することができることを伝え、少しでも勇気をもってもらいたく辰巳の教壇に立つ。

**再現答案を読むだけでは分からない！
トップレベル合格者のノウハウをここに公開！**

本試験では全く同じ問題は二度と出題されない以上、学すべきは高順位の再現答案という「結果」ではなく、実はそれを書いた「高順位合格者の頭の働き」の習得です。彼らは、問題文のどの事実マークし何を発想したのか？出題意図を読み解く思考手順は？何を知識として書いているのか？何を現場で考えて書いているのか？書くべきか書かざるべきかの判断の実際は？彼らの思考過程を追体験することで、高順位合格答案を書くために必要なものを体得してください。

**民事系1位(論文総合1位・総合評価1位)合格者が本音で語る！
本試験現場での「悩み」と「現場判断」。**

民事系1位の答案といえども出題趣旨とおりの答案というわけでは決してありません。民事系での得点率8割以上の理由はどこにあるのか。民事系1位合格者といえど、本試験の現場では悩んだはず。本試験現場でのリアルな思考過程を、講師が本音で語ります。本講座では、書画カメラを使用して、講師自らが、問題文をどう読み・どう考え・どう書いたか、本試験当日をリアルに再現します。本試験現場での思考過程を共感することで、公法系で不可欠な思考過程がスラスラと頭に入ってくるはず。講義の中では、講師再現答案だけでなく、民法及び商法では合格者平均答案(150点台)を用いて、民事訴訟法では合格者平均答案に加え、170点台・140点台の再現答案を用いて、比較検討をしていきます。

●講師メッセージ

司法試験受験生に共通する最大の悩みである「新司法試験に合格するには？」を解決するにはどうしたらいいのでしょうか？端的にいえば「出題趣旨に沿った答案を書く。」の一言に尽きるでしょう。けれども、そんなことは誰でも考えていることです。「どうすれば出題趣旨に沿った答案を書けるのか？」が次の疑問であり、これがなかなか解決できないために、とりあえず知識・論点を詰め込むといった勉強に終始している人が多いのではないのでしょうか。しかし、残念ながらそのような勉強法では司法試験合格に必ずしも直結するとは言えません。知識はいくら有していても、適切なタイミングで用いなければ全くその意味を失います。では、どうしたら適切なタイミングで用いることができるのか？受験生が本試験の現場で出題趣旨を探るには、まさにたった今向き合っているその問題文から読み取るしかありません。あまりに当然のことですが、その割に「問題文を丁寧に読み込む」意識が欠けている人が多いのではないのでしょうか？ではどのように問題文を読んだら出題趣旨を見抜けるのか。平成23年本試験の問題を実際に私と一緒に読みながら、その過程を実感してみよう。何もありとあらゆる出題趣旨を見抜く必要はありません。絶対外してはいけない趣旨、なるべく読み取りたい趣旨さえ見抜いてしまえば、あとは基本知識にしがたって、基本に忠実に自分の思考を答案に表現していくだけで。合格するために、特別な知識、特別な勉強なんていらぬ—この事実は必ず皆様の安心と自信、そして勇気につながるはず。



- 民事系1位合格者が、事前に何を準備し、現場で何を考え、実際に何を書いたかが分かる。また、他の受験生との違いを検討することで、何が両者の得点を分けたかが分かった。これを知ること、今年の問題で求められたこと、及び実際に現場で書けた最高峰の答案を知ることができる点が良い。
- しばしば、答案はラブレターに例えられるが、講師曰く「文通である」とのこと、答案作成の大前提として、いかに精確な問題・設問把握が必要か、を改めて気づかせてくれる点が良い。
- 本試験に求められているのは、基本的な「条文・要件・判例・規範・論点」の修得であることを答案で示してくれる。このための事前準備として、必要な知識の広さ・深さを明示してくれる点が良い。
- 必要十分な情報量、入念な準備の下、講座に望まれている姿勢が素晴らしい。
- 話し方のテンポ、声量も良い。
- 他の合格者答案との比較により、論点自体の言及の有無、判例の規範の正確さなど、何が1位合格者との差となったかが分かる点が良い。今後の勉強の指針となる。

●受講料 (税込)

通信部	DVD3+*	MD3+*	他3+*	辰巳価格	代理店価格
	R-305R	R-305M	R-305	¥17,600	¥16,720

*注 通信部は、媒体の別(DVD又はカセットテープ又はMD)をお選びいただけます。MDはMDLP対応機種のみ、DVDはDVD-R対応機種のみご利用いただけます。ご自身のプレーヤーをご確認の上お申し込み下さい。

**本試験総合1位(論文1位)合格者による
「ここは書いた、ここは書けない」
本音で語る出題趣旨の読み解き方 緊急講義**

↑辰巳HPにて、ストリーミング配信中です。↑

論文総合1位・総合評価1位の合格者が語る！
出題趣旨を踏まえた10月からの答案練習の仕方
—私の方法論—

辰巳法律研究所
http://www.tatsumi.co.jp/

東京本校 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-6 TEL 03-3360-3371 (代表)
 横浜本校 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-5 銀洋第2ビル 4F TEL 045-410-0690 (代表)
 大阪本校 〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田パークビル 3F TEL 06-6311-0400 (代表)
 京都本校 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町 670 京都フククビル 6F TEL 075-254-8066 (代表)
 名古屋本校 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-26-22 名駅ビル 3F TEL 052-588-3941 (代表)
 福岡本校 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-17 西日本ビル 8F TEL 092-726-5040 (代表)